

光化学オキシダントの測定結果(平成18年度)

光化学オキシダントは、窒素酸化物や炭化水素類が紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に生成される酸化性物質で、光化学大気汚染(いわゆる光化学スモッグ)の原因物質とされ、その発生は気温、風向、風速、日射量等の気象条件に大きく左右されます。

平成18年度に、光化学オキシダントについて12測定局で測定した結果は、下表のとおりであり、いずれの測定局においても環境基準を達成できませんでした。

昼間(午前5時から午後8時まで)の1時間値の最高値が最も高かったのは、笠原測定局の0.159ppmでした。

なお、「岐阜県大気汚染緊急時対策要綱」に基づく光化学スモッグ予報の発令日数は3日(西濃・羽島地域2回、東濃西部地域3回)であり、光化学スモッグ注意報の発令日数は4日(西濃・羽島地域1回、東濃西部地域4回)でした。

平成18年度光化学オキシダント測定結果

地域	測定局名	昼間測定日数(日)	昼間測定時間(時間)	昼間年平均値(ppm)	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数とその割合		昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数とその割合		昼間の1時間値の最高値(ppm)	日最高1時間値の年平均値(ppm)	環境基準の適否	平成17年度	
					時間	%	日	%				昼間年平均値(ppm)	環境基準の適否
岐阜	岐阜中央	365	5409	0.029	356	6.6	76	20.8	0.128	0.046	×	0.027	×
	岐阜南部	365	5435	0.029	421	7.7	85	23.3	0.151	0.048	×	0.026	×
	岐阜北部	365	5441	0.028	350	6.4	73	20.0	0.135	0.046	×	0.028	×

	各務原	365	5427	0.028	296	5.5	69	18.9	0.126	0.045	×	0.028	×
	羽島	365	5472	0.029	437	8.0	86	23.6	0.143	0.049	×	0.027	×
	平均	/	/	0.029	/	/	/	/	/	/	/	0.027	/
西濃	大垣中央	365	5437	0.028	365	6.7	80	21.9	0.130	0.046	×	0.022	×
	大垣南部	351	5222	0.029	371	7.1	73	20.8	0.148	0.047	×	0.023	×
	平均	/	/	0.029	/	/	/	/	/	/	/	0.023	/
中濃	美濃加茂	365	5442	0.028	404	7.4	82	22.5	0.109	0.047	×	0.027	×
東濃	笠原	365	5443	0.032	706	13.8	122	33.4	0.159	0.056	×	0.028	×
	中津川	365	5441	0.027	486	8.9	87	23.8	0.136	0.049	×	0.025	×
	平均	/	/	0.030	/	/	/	/	/	/	/	0.027	/
飛驒	高山	365	5448	0.029	184	3.4	42	11.5	0.098	0.045	×	0.026	×
	乗鞍	291	4328	0.048	547	12.6	84	28.9	0.113	0.055	非適用	0.045	/
	平均	/	/	0.039	/	/	/	/	/	/	/	0.045	/
県平均	/	/	0.030	/	/	/	/	/	/	/	0.036	/	

備考)

- 1 県地球環境課調べ
- 2 昼間は、午前5時から午後8時までを示す。
- 3 環境基準に適合しているとは、1時間値が 0.06ppm 以下であることを示す。

○過去 10 年間の経年変化

